

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科応用獣医学連合講座 浅井鉄夫」までお願いします。

〔編集後記〕

我が国の SPF 豚の歴史の中で、多大な功績を残された波岡先生が平成26年4月22日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

先生には、All about SWINE へは数多くご執筆いただきました。内容は、日本における SPF 豚

の歴史から始まり、養豚全般に関するもの、また、その時々 of SPF 豚に関する問題提起や解説で、非常に示唆に富むものを多く残されました。先生からいただいた最後の原稿「巻頭言 SPF 豚の将来展望」（2011）では、わが国の SPF 豚生産の成果を称賛するとともに生産者の努力への賛辞が述べられています。そして、SPF 豚協会と本研究会に対する期待をこめて、次のように結ばれています。「今後わが国における養豚産業発展のうえに SPF 豚をどのように普遍的な存在として発展させて行くのか、SPF 豚協会や研究会の一層の働きが期待されます。」

国内の養豚において、SPF 豚が10%を占めるようになりました。しかし、本年の流行性下痢症（PED）の流行では、農場の防疫管理に細心の注意を払っているにもかかわらず、PED ウイルスの侵入を許してしまった農場もあります。これは、現状の防疫管理システムの不備を警鐘しているのかもしれませんが。2010年の口蹄疫や本年の PED に関するコメントを先生から頂けなかったことが編集を担当する者として悔やまれます。

（浅井）

「All about SWINE」
第45号

2014年9月発行 定価1,500円

発行者 小林 秀 樹
編集者 浅 井 鉄 夫
発行所 日本 S P F 豚 研 究 会
事務局 (株)伊藤忠飼料研究所
予防衛生チーム内
〒325-0103
栃木県那須塩原市青木919
Tel : 0287(64)3652
Fax : 0287(63)8384